

## 活動助成（2010 年度募集）活動実績報告書

団体名	関西学院ヒューマンサービスセンター
活動テーマ	被災地佐用町における、住民主体のまちの復興を目指した、学生による支援活動



2009年8月、台風9号により兵庫県佐用町は甚大な被害を受けました。水害発生直後から活動しており、2009年度は佐用町の特産である「竹炭焼き」を用いて町の活性化を図り、また佐用町久崎地区の空き店舗を利用し「コミュニティカフェ」として住民の集いの場を設け、住民同士の交流を深めていきました。そして私たちは、現地で得られた住民の声に応えるためにも継続的な支援を行おうと決意しました。2010年度では住民が活動に関わる機会を多く設け、住民と学生が一体となってまちの活性化や復興につなげたいと考えました。そして、将来的に地元住民が主体となり自立していくことのできる基盤作りを目指そうと考えました。昨年度に引き続き「子ども竹炭教室」を開催し、竹炭焼きへの関心を高めようとしてきました。竹炭焼きの専門家を招き、竹炭焼きの方法や竹炭の効能・使用方法について学び、専門家と子どもたちの交流を図りました。その後子どもから直接、竹炭焼きに対する思いを聞いていきました。またコミュニティカフェの運営を担ってくれる住民を募り、共にカフェを盛り上げていきました。以前から行っている手作り小物バザーへ住民から商品を提供してもらいました。同時に、運営側内の交流も深めるため住民と学生が協力して商品作りに励みました。そして住民のお手伝いが加わったことを公言し、新たな住民を呼び込みました。竹炭焼きの若手人材の育成には至りませんでした。子どもたちの関心が少しずつ竹炭焼きに向くようになりました。子どもたちは師匠の熱心な指導姿を見たことで、竹炭焼きを誇りに感じているといえます。また、カフェ準備に関わる住民は率先して準備して下さい、カフェに対する新たなアイデアも提案して下さいました。こうして住民が人々をカフェへ呼び込むきっかけとなり、益々カフェの存在が広まり、今では住民による活気に満ちたカフェができています。